

(様式1)

平成30年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 032	提案機関名 農業技術センター普及指導部
要望問題名 トマトの台木の違いによる水疱症発生度に及ぼす影響	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 最近のトマト品種、特にTY耐病性品種は水疱症の発生が問題になっている。これまでの研究では、苗において土壌含水率が低い乾燥状態から灌水を行う場合に発生しやすいこと、地下部重に対する地上部の割合が高い品種ほど、水疱症の発生が多い傾向があることが示唆され、現地での発生状況と同じ傾向が見られた。そこで、水疱症が出やすい品種において、接ぎ木をすることで発生が軽減するか、台木の品種別に地下部重と併せて比較調査していただきたい。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部 野菜作物研究課
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) ロボット等の導入による省力化・簡易化を推進する技術開発 ア 農業機械、システム利用による省力・高収益性技術の開発 (ウ) 施設システム利用による省力・高収益技術の確立		
対応の内容等	トマト水疱症の試験は現在実施中です。現在、トマト水疱症に係る台木品種比較試験を行っておりますが、接ぎ木をすることによる水疱症発生への影響についても試験を予定しています。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			